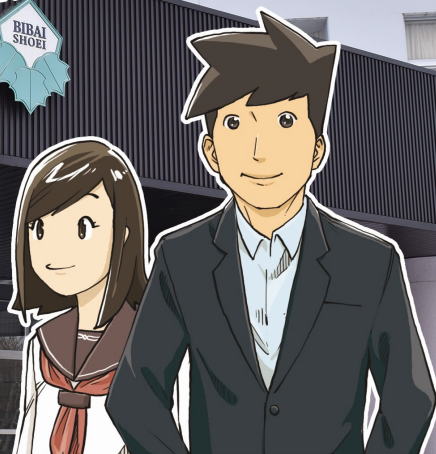
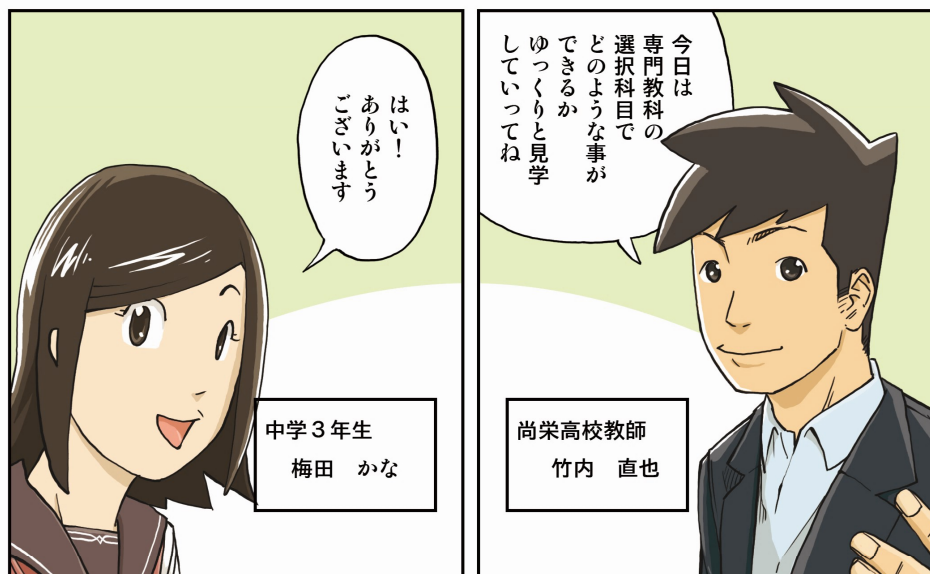


美唄尚栄高等学校 見学会

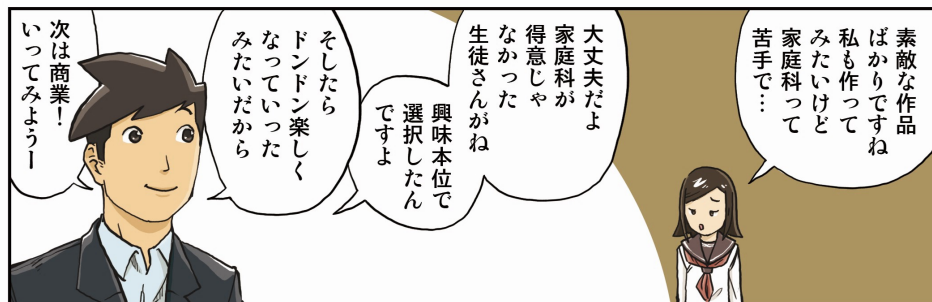
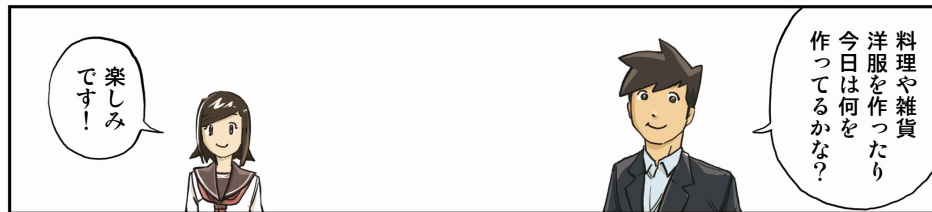
普通科目の他、農業・工業・商業・家庭に
関わる専門科目幅広く学ぶことができる
道立高校



Bibai workers photo collection



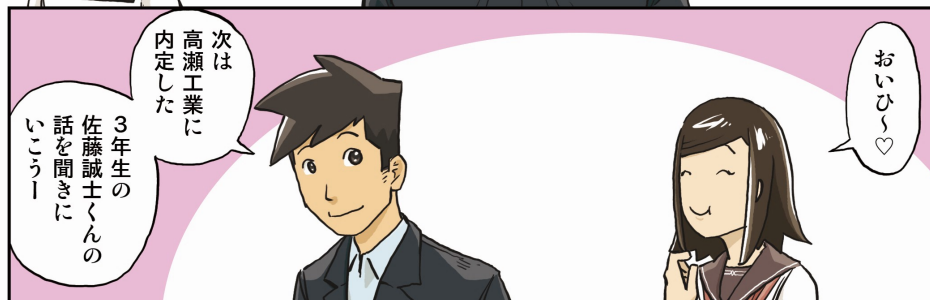
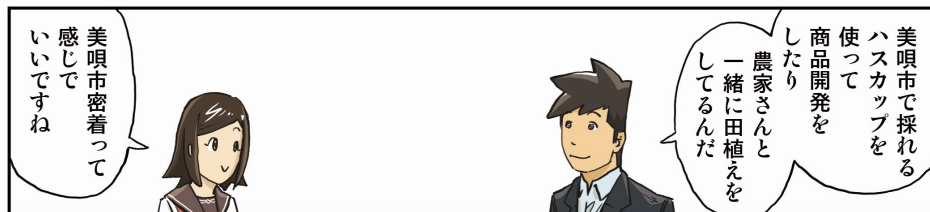
家庭



工業

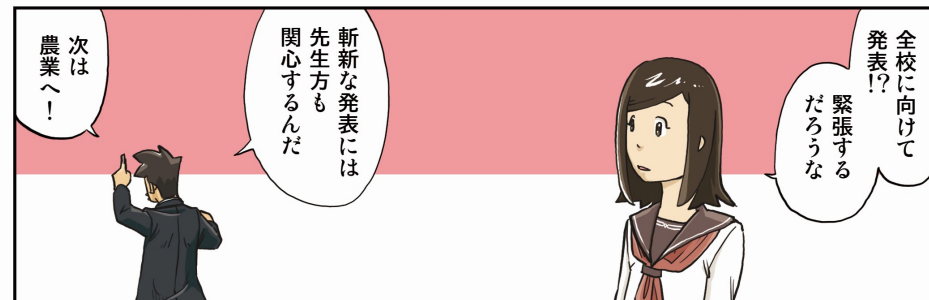
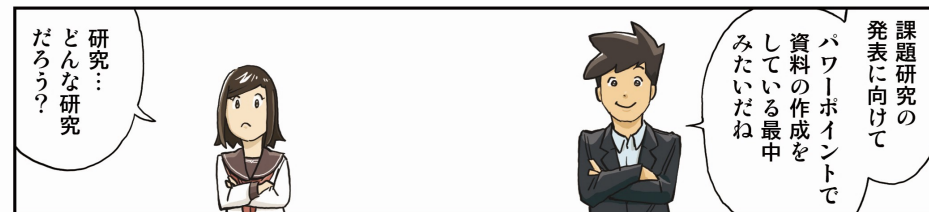


農業



※フランスの洋菓子

商業



まとめ

美唄尚栄高校 進路指導部より

総合学科と言っても他の高校では多様な進学に向けた普通科目の選択のみだったりするところがスタンダードなのですが、美唄尚栄高校は工業・農業・商業・家庭科を選択でき、将来の進路を考えるきっかけづくりや子供たちの新しい可能性を見つけることができる学校になっています。これは総合学科の学校の中でも特色あるものだと思います。

先ほどの生徒のインタビューで話していたように商業を選択したけど他のものに興味を持ち工業の科目を学んでいくことも可能です。やってみないと見えてこないことがあり、そこから新しいステップに進んでいくことができるのはこの学校ならではのようです。

選択自体は2年生から始まり3年生で再び選択し直すことができます。2年間通して学ぶ子がほとんどですが、佐藤くんのように商業を主としながら工業の科目を学び始める生徒もいます。学生なので色々なことを学び様々な生徒、先生と関わることも大切なことです。

たとえ土木関係の仕事についても接する方々は土木関係の方だけとは限らないので、そういった面でも生徒の可能性は広がるのではないかと思います。

卒業生の半分以上は選択した分野の進路に進んでいきます。地元志向の生徒が多いのも印象的で、地域の企業にも美唄出身の役員さんが多いので地元出身の生徒に多く声をかけていただいています。

2年間工業を選択していた生徒と話していたとき、簿記の資格を持っているということを知ったことがあります。その生徒の仲の良い友達が商業を選択しており、自分は工業だがデータをまとめたり何か頼まれたりした際にできていた方が良かったと思い自主的に資格を取得したそうです。このようなことに尚栄高校だと気づくことができる。周りの生徒が何をやっているのかわかるので、これをした方がいい、あれをした方がいい、という多様な考えを持つことができると思います。

工業で3Dプリンターを使い『かなうさ』という学校のキャラクターをプラスチックで作成したことがありました。ただ私は染色についての知識がないので家庭科の先生に相談したところ、生徒と一緒に染色してくれました。このようなコラボレーションがあることも魅力ですね。その家庭科のクラスからはプラスチックの成型のことや3Dプリンターのことを聞かれましたし、私たちも物によって染色の方法が違うということを知りました。そういった多様なことに気づくきっかけや、創造性、チャレンジ精神が育まれる環境です。

今は美唄から岩見沢の高校に通う生徒も増えていますが、地元の企業の方々には美唄の高校にかける思いがありますし、地域活性化の点でも、もっともっと学校を盛り上げていきたいと思っています！

